「新世紀とやま文化振興計画（改定版）」の改定（骨子たたき台）について

資 料 4

基本目標	施策の方向性	主な重点施策（変更案）	前回審議会の主な意見・アンケート結果
文化活動への幅広い県民の参加	身近なところで優れた文化を鑑賞する機会の充実	・優れた美術、音楽、演劇などを文化施設で鑑賞する機会の充実 ・ふるさと文学に親しみ・学ぶ環境づくりの推進 ・巡回展示や出前公演等による鑑賞機会の充実 ・最新の情報通信技術を使った鑑賞の充実	・移転を機に富山県美術館の収蔵品の素晴らしさを広く県民に知ってもらうべき ・美術館等の出前講座を地域の方にも拡大 ・若い世代が情報をキャッチしやすいPRを ・文化施設が地域の文化活動の拠点となるために力を入れることは、「鑑賞機会を充実38.8%」「PRを充実33.9%」など ・「元気とやま創造」のための重点施策の2位は、「県民が文化を鑑賞する機会の拡充40.6%」
	文化の創造への支援	・美術、音楽、演劇などの練習の場の確保 ・指導者の確保と養成 ・発表の場・批評の場の確保 ・ふるさと文学を深く調べる・発表する・創作への刺激ともなる場の確保	・文化活動を行ううえでの支障等は、「時間がない38.1%」「関心がない29.8%」「一緒に活動する仲間がいない17.8%」など
	文化を通じた交流・文化活動への参加の拡大	・双方向の芸術文化体験と交流の機会の充実 ・支援する人々との協働の促進 ・県民の文化活動への参画の促進 ・高齢者、障害者等の文化活動の充実	・ボランティア活動している人が少ない（していない人94.1%）
	次世代を担う子どもたち、青少年の文化活動の充実	・青少年の芸術鑑賞、体験事業の充実 ・青少年の創作活動への支援と発表機会の拡充 ・子どもたちの国内外との交流の充実 ・学校教育における文化活動の充実と地域の文化活動への理解の促進 ・ふるさと教育の推進 ・若い世代の文学活動の振興 ・伝統文化への参加と体験の機会の確保 ・若手芸術家の育成	・子どもが一流の芸術を鑑賞する機会の充実 ・富山県美術館で子どもが感動する機会の提供 ・富山県美術館で子どもが創作活動の体験 ・学校で文化に触れる機会の充実・体制整備 ・文化部活動に専門家を呼べる制度 ・高志の国文学館で子ども向けのアウトリーチ ・「元気とやま創造」のための重点施策の1位は、「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充53.9%」 ・子どもたちが文化に親しむために力をいれることは、「文化鑑賞の機会等を学校教育の場で充実56.7%」
質の高い文化の創造と世界への発信	アジアを代表する舞台芸術の拠点づくり	・演劇の聖地にふさわしい舞台芸術空間づくり ・世界演劇祭の開催などによる舞台芸術の発信 ・アジア諸国の舞台芸術機関との連携による共同制作・人材育成事業の充実	・利賀で海外の若者が長期滞在できる工夫 ・積極的な海外の若者の受入れ
	特色ある国際的な文化振興事業の展開と発信	・アートとデザインをつなぐ場の創出 ・世界ポスタートリエンナーレトヤマなどの国際事業の開催 ・国際イベントの開催などＫＯＧＥＩの魅力の世界への発信 ・とやま世界こども舞台芸術祭等芸術団体等による創造と発信の推進	・富山県美術館のデザイン重視を海外等に発信 ・プロではSCOT・利賀、アマではPATがある ・富山でないと見られないものを重点的にﾌﾞﾗｯｼｭｱｯﾌﾟ ・富山に来ないと体験できないものを作るべき ・県内の誇るべき文化を県民の暮らしの中に組み込む ・他県出身の学生が富山の文化に触れ、地域の人と関わり、発信する場の創出
	富山固有の文化の発掘と県民による再認識と発信	・おわらなど貴重な伝統文化の発掘と発信 ・世界文化遺産登録をめざした取組み ・立山の自然や立山信仰の精神世界の紹介と魅力の発信 ・富山ゆかりのふるさと文学の振興と発信 ・地域の個性を活かした景観づくり ・富山の魅力を知る・学ぶ機会づくり ・伝統文化・伝統芸能の後継者育成	・祭りや地域行事への子どもの積極的な参加 ・大伴家持など偉人の顕彰・追慕は世界へのアピール度も強い ・大伴家持関連事業は他の関係都市との連携を ・国内外に誇れる文化等は、「世界遺産『五箇山合掌造り集落』などの歴史的な町並み・集落、建造物69.9%」
	情報通信等技術を活用した文化の創造と発信	・バーチャルミュージアム、総合ポータルサイトによる情報発信 ・新しいメディア等を活用した文化の発信	・地域の個性的な文化を映像で世界中に発信
文化と他分野の連携	文化振興と観光振興	・文化を活かした観光の振興 ・文化施設や文化財等を拠点とした観光の活性化	・衣食住・お祭りなどは富山の文化そのもの。これらをインバウンド向けにまとめて発信する工夫を
	文化を活かしたまちづくり・地域づくり	・地域の文化資源を活かしたにぎわいづくりの促進 ・歴史と文化を活かしたまちづくりの推進 ・ふるさと文学の振興とまちづくり ・国内外の文化的多様性にあふれたまちづくりの推進	・文化と他分野との連携の推進のために力を入れることは、「歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う42.6%」
	とやまの食の魅力のアピール	・食文化の魅力を全国に発信	・国内外に誇れる文化等で、「歴史・風土に培かわれた食文化」が増加（前回25.2%→今回30.3%）
	文化を活かした産業の振興	・文化を活かした伝統産業・クリエイティブ産業の振興 ・文化力を活かしたものづくり産業の高付加価値化	・多様な価値を考える文化の力と理系との融合が大切 ・北陸新幹線開業は文化を軸にして産業経済構造が変化する契機 ・国内外に誇れる文化等で、「高岡銅器・漆器、井波彫刻などの伝統工芸」が増加（前回38.1%→今回43.4%）

富山県経済・文化長期ビジョン

文化(9)芸術文化活動を通じた県民総活躍の場の創出
○文化の力を活用して、県民が生き生きと輝いて働き暮らし、充実した人生を送っている社会を推進
○幼少の頃から質の高い芸術文化に触れられる環境整備、県民が文化活動等をともに楽しむ環境の整備、若手芸術家の活動機会を創出し、文化を担う人材育成の推進　⇒　芸術文化活動を通じた県民総活躍の場の創出

文化(8)学校と地域でつくる文化の担い手育成
○次世代を担う子どもが豊かな感性と創造性を持った人間となるよう育成し、幅広い県民が文化の鑑賞、文化交流を行い、文化の人づくりを促進

文化(5)舞台芸術拠点「TOGA」による地域の活性化
○国際的に定評のある「TOGA」で、地域密着の文化資源等を戦略的に活用した芸術文化の創造と発信
○アジアの舞台芸術の拠点を形成し、国内外からの交流人口の拡大による過疎地域の活性化

文化(4)世界への発信による「とやまの文化GDP」の拡大
○世界に誇れる質の高い文化の創造、世界各国からアーティスト等を招聘した国際イベントの開催など、世界各地とダイレクトに繋がる文化交流
○世界から観光客、芸術文化人が集う芸術文化の拠点を形成し、「とやまの文化GDP」の拡大

文化(10)文化芸術資源をもとにした文化芸術クラスターの形成
○県内各地域で育まれてきた歴史的・文化的資源を発掘・再認識し、その価値をさらに高め、新しい魅力を創造
○地域の文化的な潜在力を活用・発展させて、生活の中に文化が溶け込む県民生活の充実

文化(6)富山サポーターグローカルネットワークの構築
○人口減少の中、国内外で活躍する富山とつながる「富山サポーター」を将来にわたって10万人程度を確保
○グローカルネットワークを活用した交流、ニーズのマッチング、異文化交流など、従来の地域における富山の「縁」を越えた新しい絆を構築し、新しいバーチャルな「とやまコミュニティ」の社会・文化を創造
○ビッグデータを活用してニーズにマッチした様々な情報を提供

文化(3)海・山近接の富山の魅力を活かした「中山間ニューライフコミュニティ」の形成による里山振興
○海と山が近接した富山の魅力ある中山間において、快適で楽しい中山間地域移住のモデルづくりを促進
○里山の資源を活用した体験型・滞在型のエリア形成により、伝統文化の保存・継承や交流人口の拡大、雇用を創出

文化(7)とやま食文化の振興・展開
○海・野・山という変化に富んだ自然の宝庫である富山県は、新鮮で多彩な食材、歴史にはぐくまれた彩り豊かな食文化が醸成
○海外でも和食は健康で栄養豊かな食として人気であり、国内外に食材の宝庫「食の王国とやま」のイメージを確立し、富山ならではの食文化の交流を促進し、海外展開
○県内シェフと海外シェフの食文化を通じた人材ネットワークを構築

文化(1)アート・デザイン県とやまの創出
○第4次産業革命による生活様式の変化に適合し、「TOYAMAブランド」を創出して世界に発信
○伝統工芸を担う人材の育成や、アートとデザインを活用した産業・文化の活性化による魅力ある地域づくり

文化(2)未来へ示すクリエイティブな文化（クールトヤマ）の形成
○クリエイティブな商品制作の人材育成、コンテンツ産業などの集積を図ることで、未来へ残る普遍的でクリエイティブな文化（クールトヤマ）の形成